



平成25年度 社団法人 埼玉県校外教育協会委嘱

研究主題

自ら学び、考え、表現できる児童の育成 ～地域の教育力を活かした豊かな体験活動をとおして～

「開校140周年記念

第14回 みんなの運動会」

本校児童・教職員そして地域の皆様全員による
「みんなの運動会」です。



「ケナフ栽培」

ケナフの種まきからケナフを使っての紙すきまでの一連の活動を学校応援団の皆様のご指導により毎年実践しています。



「まこもの馬づくり」

地域の伝統文化の継承を目的として活動します。まこもを使って馬をつくり、七夕にお供えします。今回で44回目です。

幸手市立権現堂川小学校

まこもの馬づくり



まこもの刈り取りから選別、そして乾燥までを学校応援団の方々にお世話になっています。



七夕集會にて学校応援団の方々とふれあいます。

ケナフの栽培

ケナフ栽培を通して環境に対する意識を醸成します。



世界でたった一枚のケナフを使った葉書が完成します。





「研究・実践の成果」の概要

地域の身近な自然や人々との関わりを深めるため、みんなの運動会、生活科や総合的な学習の時間を核とした自然体験活動や勤労体験活動（農業体験活動、まこもの馬作り、ケナフの栽培等）を展開してきた結果、次の様な成果が見られた。

①地域の自然や人材を生かし、家庭・地域と連携しながら「育てる」「見る」「ふれる」等の視点を重視した体験活動を継続して実施してきた結果、生きることの意味や命の大切さを学ぶことができた。地域性を生かし大人も子どもも一体となった「みんなの運動会」。また、ジャガイモ、さつまいも、ミニトマト、なす、ピーマン、ネギ、などを自分たちで育て、それらを収穫し、給食等で食べるという活動を定着させたことで、食の大切さについて考える契機となり、地域の人々との連携で自分たちの食を守るという意識を持つことにつなげることができるようになってきた。

②地域に伝わる行事（まこもの馬作り）や地域の先達とのふれあい（野菜作り）などの、ふるさとの良さを認識させる活動を通して、一人一人の児童が主体的に判断し、人や地域に積極的に関わることができるようになってきた。特に、学校応援団の方々との様々な活動を通してのふれあいにより、自分たちの住む地域の自然・文化に誇りを持てるようになってきた。

③少人数、小規模校のメリットを積極的に生かした様々な体験活動を取り入れて、継続的に積み重ねてきたことによって、体験活動に深まりが見られ、児童一人一人の感性が豊かになった。特に、まこもの馬作りを通して七夕集会の活動を充実させたり、紙すきや地域の環境保全にまで活動を広げたケナフの栽培活動を実施したりすることで、活動が連続的になり、子どもたちの心により響くものとなった。

以上のような成果を受けて、次年度もこれらの活動を継続して実施していきながら、より充実した活動になるように工夫をしていきたい。